

校内研修を通してはぐくむ

学ぶ意欲をはぐくむ方策の一つとして、校内研修を充実させることが考えられます。例えば、学ぶ意欲の質問紙調査を行い、その結果を分析して課題を見出したり、子どもへの働きかけのアイデアを出し合ったりすることは、授業改善に大いに役立ちます。

教師は、個々に工夫をして意欲を高めるための働きかけを行っています。その働きかけが有効かどうかを、検証することが必要です。そのためには、互いに授業を公開し、授業研究会や話し合いを通して、気づきを得ることも重要です。

このように、学校全体で学ぶ意欲の向上に取り組むことが大切です。具体的な校内研修のプログラムについては、第4章で紹介していますので参考にしてください。

〔期待できる効果〕

- 一人一人の生徒を多面的にとらえられる。
- 授業研究会を通して、授業を振り返り、改善に生かせる。
- 協議する中で、授業の見方を学べる。
- 学ぶ意欲の構成要素に着目することで、授業を見る視点が増える。
- 構成要素に着目し、複数の目で見ること、見えにくい学ぶ意欲が把握しやすくなる。



〔学ぶ意欲に関する校内研修計画例〕

月	内 容	方 法・備 考
5	学ぶ意欲の理解と自校の課題把握	・リーフレットの読み合わせ
5	第1回アンケート実施と入力作業	・センターホームページよりダウンロード
6	アンケート結果の分析と指導目標設定	・アンケート結果の分析 (講師または学習指導担当)
7	学ぶ意欲の働きかけの工夫	・働きかけについての協議
9	指導案検討	・学ぶ意欲の視点を盛り込んだ授業構想
10	研究授業、授業研究会	・授業の観点を設けた授業研究会
11	第2回アンケート実施と入力作業	・指導目標の見直し
2	成果と課題の確認	・次年度の学校課題設定